

— 昔の暮らし展開催お知らせ —

学校連携学習資料展 『発見・体験昔の暮らし』開催します

毎年、歴史博物館では、子どもから大人まで楽しめる『発見・体験 昔の暮らし』を開催しています。
主な展示品として、昭和30年代を中心とした衣食住に関連のある生活道具の他に、市内各所や小学校の古写真などが並んでいます。
本展示で当時の人々の暮らしに思いをはせてみませんか。

期 間：9月6日(土)～1月18日(日)
場 所：歴史博物館 2階特別展示室



…… 館務実習展 開催中！ ……

考古・歴史博物館両館には、毎年、学芸員資格の取得を目指す学生たちが館務実習に訪れます。

実習中、施設の管理・運営に関する話や資料整理について学び、さらに実習の成果の形として展示制作にも携わってもらいます(資料の見せ方やキャプションの言葉選びなど、来館者の目線を意識した作業からは学ぶことも多かったようです)。

考古博は8/9(土)から、歴博は9/13(土)からそれぞれの展示が始まります。実習生たちが力を合わせて企画する展示をお楽しみに！

※内容は都合により変更になることがあります。



考古・歴史博物館
公式SNSで情報発信中！



X (旧Twitter)



Instagram

ご利用案内

【時間】 9:00～16:30 【駐車場】 一般車30台
【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日) お体の不自由な方等の車両 各館1台あり
【入館】 無料、補助犬同伴可 車いす各館1台あり

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、博物館および駐車場の利用時間が変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。



市川考古博物館
〒272-0837
市川市堀之内2-26-1
☎ 047-373-2202
市川歴史博物館
〒272-0837
市川市堀之内2-27-1
☎ 047-373-6351

収蔵庫整理事業報告展示 『見つめなおす、市川の宝物』開催中！

歴史博物館の収蔵庫で眠っている資料を改めて清掃・調査する…という、収蔵庫整理事業の成果報告展示です。昨年度から引き続き、國學院大學観光まちづくり学部の学生さんと協力して実施しました。

この調査から改めてわかったことや、資料の新たな一面を知っていただくことを目的としています。今年度は市川市の海苔養殖道具に着目しました。牡蠣殻のついた網や海苔づくりには欠かせない海苔簀、前掛けなど…。これらをよく見てみると、細かいところに作業効率を上げるための工夫が施されているのです。

ぜひ常設展示室の海苔コーナーと合わせてご覧ください。

期 間：令和7年7月5日(土)
～12月27日(土)

場 所：歴史博物館1階常設展示室



【当館利用者の皆様へのお願い】

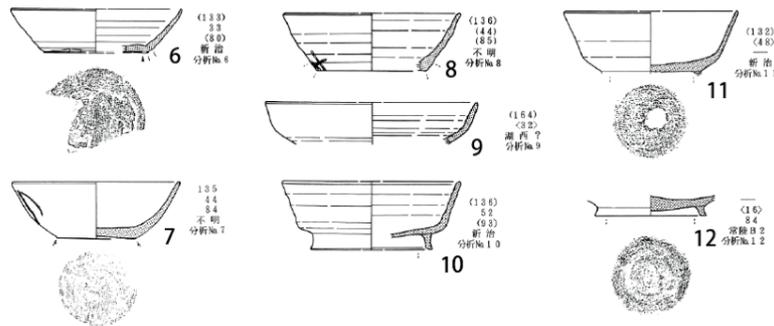
体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
見学の際、展示ケース等の館内の物には触れないようにお願いします。

シリーズ 鬼高-真間-国分 その19 須恵器研究法の多様化(8)

方、三辻利一も自身の研究方法に磨きをかけます。二群間判別法に加えてクラスター分析による分類を導入したり、数式「マハラノビスの汎距離」を用いて、個別資料の分析結果が特定窯跡産須恵器の分布の中心から外れた度合いを数値で示しました(例:表1)。

三辻の統計学を応用した分析法は論理的ですが、結論として提示されたクラスター図や距離の数値を、初見で理解するのは簡単ではありません。産地同定に有効とされる6つの元素比が数値ひとつに集約されてしまい、研究成果の検証が難しくなります。また、地元の須恵器に詳しい考古学者と協力しないまま、大阪府陶邑窯産須恵器などと単純に対比する方法は変わっていません。有力な選択肢が欠如したままでは、統計学を導入したところで産地同定の確度を実質的に高めることはできないのです。

1990年代後半になると、ついに理化学研究の三辻と考古学者が互いに協力して、産地同定の精度が飛躍



番号	器種	時期	マハラノビスの汎距離による計算結果									
			茨城 木葉下	埼玉 南比企	千葉 永田・不入	大阪 陶邑	愛知 猿投	静岡 湖西	埼玉 新開	群馬 普ノ沢	三辻の 推定結果	
6	杯	2b	169	55	58	18	102	5.4	26	25	湖西	
7	杯	3	78	6.7	11	22	64	30	109	32	南比企	
8	杯	3	32	31	42	9.7	64	2.2	62	28	湖西	
9	高台杯	2a	34	79	77	8.4	51	2.7	78	62	湖西	
10	高台杯	3	376	50	59	36	254	32	34	39	不明	
11	高台杯	3	170	9.3	16	21	90	5.6	16	5.0	湖西・普ノ沢	
12	高台杯	3	260	27	42	36	90	9.0	15	28	湖西?	

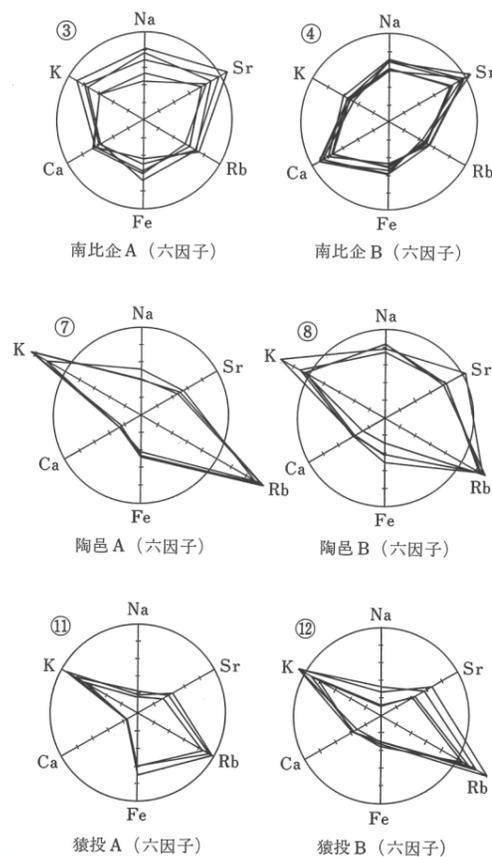
【表1】 三辻の分析例 (三辻ほか1996)

※この7点のうち正しい産地同定はNO.9の1点(湖西窯)にすぎない。

的に高まります。その鍵となったのは、6元素を同時に図化して試料の視覚対比を可能とする、レーダーチャートの利用でした。その代表的な研究には橋本博文(橋本1995)と筆者ら(三辻ほか1996)の成果があります。

参考文献

橋本博文1995「考古学と胎土分析」『王朝の考古学』大川清博士古希記念会、雄山閣出版
三辻利一・松本太郎ほか1996『市川市出土遺物の分析 - 古代の鉄・土器について -』平成7年度市川市埋蔵文化財調査・研究報告、市川市教育委員会
(考古博物館学芸員 松本 太郎)



【図1】 窯跡出土試料で作成したレーダーチャート(橋本1995)

市川に残る合戦関係伝説③ ～悲しい里見のお姫さま～

第一回に里見弘次の話をしましたが、そこで夜泣き石の話を受けました。国府台合戦で戦死した里見弘次には娘がいて、その娘が父を偲んで戦場に來たところ、あまりのむごさに石に縋り付いて泣き続けそのまま亡くなり、以来、夜な夜な石からすすり泣きが聞こえるようになった、という伝説です。

市内には里見の姫に関する伝説が多くあります。ひとつは国府台の個人家で祀られている松の根のお話です。里見の姫は敵方の若侍に恋をしており、毎夜人目を忍んで恋の成就を祈願していたが叶わないと悟り、母の白無垢を持ち出して江戸川べりの柳の下に着替え、自分の着物を松の根元に脱ぎ置いて江戸川に入水した、というものです。この松の根が祟ったため、祀られるようになったそうです(萩原法子『いちかわ民俗誌』(崙書房、1985年)より)。少し曾谷の百合姫(市川合戦に関わる伝説)に似たお話となっています。

その他にも里見の姫に関わる伝説に、国府台のじゅん菜池近くの姫宮があります。姫宮は戦で入水した里見の姫を祀っているとされ、堀之内弁財宮も里見の姫が戦の際、池に落ちて死んだという伝説もあります(一説には堀之内の殿様の奥方とも)。

古来より、水と女性は結びつきが強いとされ、弁財天などが良い例です。一方、女性が入水する伝説も多く、市川には手児奈という有名な女性がいるため、水=女性=入水...というワードが繋がり、悲しい伝説が生まれたのかもしれない。

(歴史博物館学芸員 山岸 未来)



じゅん菜池近くの姫宮